

高市さんは総理失格

山口 洋司



埼玉県東松山市の憲法9条の碑(67番目)

アメリカの戦艦の甲板上で小躍りしてはしゃぐ、トランプ大統領と腕組みして、「日米同盟をさらなる高みに」、と叫ぶ、いったいこのひと何を考えているのでしょうかね。

安倍さんもそうでしたがアメリカの戦艦上、いってみたら人を殺傷する兵器の上でアメリカに媚る、なんと浅ましいことですか。平和憲法を持つわたしたち国民をバカにするのもほどほどにして欲しいものです。

わたしたちはもともとこの高市早苗さんを総理に選んだわけがありません。自民党内の権力抗争の中で選ばれてきたのに過ぎないのです。

早々に高市さんは保守のタカ派の政策をガソリン減税などに紛れ込ませるように打ち出しています。軍事費増強2%の前倒しと、さらなる増税、武器輸出制限の撤廃、スパイ防止法案等、限りなく危ない方向、平和憲法が国家に厳しくかける歯止めを次々になくしていこうとしています。

この間の予算委員会では経済成長政策の中心が軍需産業の強化、と言います。殺傷能力の高い軍艦や武器をいっぱい世界に輸出して経済力をアップしようというのです。平和憲法を持つ国の目指すことですか？

同じ予算委員会で高市さんは、台湾で武力攻撃が発生したら、日本の存立危機事態になりうる、と中国に喧嘩を売る発言して中国の猛反発を受けました。習首席と韓国で握手をしてきた直後です。台湾問題は歴代の総理はじめアメリカでさえ中国の核心部分であるため、慎重な発言をしてきました。ところが高市さんは軽々しく核心部分に踏み込みます。

総理になる人の絶対条件は想像力と冷静な判断力だと思います。

こんな発言をしたら、どういう事態になっていくか、どういう問題を起こすか、という想像力を持ち合わせない人が総理になっては駄目なのです。

また総理は自衛隊の総指揮権を持ちます。冷静な判断力がない人がもし感情に走って敵基地に先制攻撃の命令でも出そうものならどうなりますか。想像力のない高市さんが総理の座にいては大変なことになります。

わたしたちは高市総理というあぶない爆弾を抱え込んだようなものです。

暴発しないうちに一日も早く辞めてもらはなければ取り返しがつきません。(11月14日記)